

第46回信用事業業務検定試験「信用事業管理者」受験者の皆様へ

(株)農林中金アカデミー

今般、2月1日に実施した第46回信用事業業務検定試験「信用事業管理者」におきまして、設問に不備がありました。不手際を深くお詫び申し上げますとともに、採点上、以下のとおり対応させていただきます。

1 設問不備の内容

問7において、以下の(1)～(4)の記載がありませんでした。

【問7】プレイングマネージャーが他のメンバー等に協力をお願いする際の留意点について述べた次の文章のうち、適切なものはいくつあるか、(1)～(4)の中から1つ選びなさい。

- A. 管理者がプレーヤーとしての業務を行う場合、メンバーの仕事ぶりを把握しやすくするために部分的に役割を残すなどの工夫を行うほうがよい。
- B. 本部宛の報告や各主管項目などは、部下のスキルと教育的観点に応じて部下に振り分け、まずは部下が報告書の作成や主管項目の関係資料を作成することで、自身に負担がかかるような業務は受け持たないなどの工夫が求められる。
- C. プレイングマネージャーとして活動する場合は、営業に専念する時間を確保しなければならないので、支店長など自分の上司にどれだけ理解してもらえるかが重要になってくる。
- D. 突発的に発生する業務で、他のメンバーができるものについては徹底的に教えて現有人員を活用し、管理者は自分しかできない業務に専念することも大切である。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ

記載なし。

全員正解といたしますが、本来の解答解説は以下の通りです

正解(2)

解説

- A. 管理者がプレーヤーとしての業務を行う場合、部下の数だけ役割が発生してしまうため中途半端に役割を残さずに、役割をほかのメンバーに移譲しておくほうがよい。よって適切でない。テキスト3、P39参照。
 - B. 適切である。テキスト3、P40参照。
 - C. 適切である。テキスト3、P41参照。
 - D. 定例的に発生する業務で、他のメンバーができるものについては徹底的に教えて現有人員を活用し、管理者は自分しかできない業務に専念することも大切である。よって適切でない。テキスト3、P42参照。
- 以上のことより、適切なものはB.とC.であり、(2)が本問の正解である。

2 本件対応

「信用事業管理者」問7については、受験者全員を正解といたします。

以上